

令和3年(2021年)9月23日(木曜日)

三島総合病院分娩中止へ

来年1月市議会一般質問答弁

三島市議会9月定例会は22日、一般質問を行い、市は三島総合病院の産婦人科が来年1月で分娩(ぶんべん)を中止し、2月に助産師外来と妊婦健診を終了することを明らかにした。大石一太郎氏(政和会)への答弁。

市内産科医の高齢化や救急対応の要望を受け、同病院では県や市の補助により2016年度に周産期センターが開設され、18年度からは中等度のハイリスク妊娠に対する産科医療を始めた。一方で小児科医の確保が進まず、需要も想定ほどは伸びなかったという。今後については、市内の産科医院や順天堂大学病院、沼津市立病院など周辺市町を含めた医療機関でカバーできる見込み。

識を示した。河野月江氏(共産)に答えた。同日は甲斐幸博(緑水会)、土屋利絵(改革みしま)の両氏も登壇した。
(三島支局・金野真仁)

このほか、三島駅南口の再開発事業に関する質問で、市はセネコが設計段階から参画するE・C・I方式について「施工上の課題解決や入札不調、工事費高騰などのリスクを低減できる」と説明。溶岩を地盤とする事業用地の特殊性、コロナ禍の社会情勢などを踏まえ「E・C・I方式を検討されるのは妥当」との認